



大 地

令和6年7月号

校長

雲の切れ目から見える青空がまぶしく感じます。登校した子供たちが「今日、カニを見つけました」「ぼくの家近くにもカニがいました」と教えてくれました。目を輝かせて教えてくれる姿に感性が豊かに育っていると感じています。

気温が上がるにつれて、学校花壇の草花が元気になってきました。始業前には、草をとる姿や、水をやる姿が見られます。どちらも地道な作業ですが、こつこつと続けている様子を見て、このような姿が社会に出たときの勤勉さの基礎になるのだろうと改めて思っています。子供は暑さに負けず、元気に過ごしています。

子供たちは1学期間に大きく成長しました。子供が成長できたのは、ご家庭の体調管理へのご配慮と毎日の様々な確認や声かけがあるからだと感じております。子供が「～できるようになった」とご家庭で報告しましたら、ぜひ一緒に喜び、また次もがんばろうという気にさせてやってください。

これから暑い日が続きそうですが、保護者の皆様におかれましても健康にご留意ください。



生き生き窪っ子 いろいろな場面で生き生きと活動する窪っ子の様子を紹介します

全校もつとなかよし集会

6月28日（金）に、6年生が企画・運営して「全校もつとなかよし集会」を行いました。6年生は、全学年の子供が仲よくなれるように、スムーズに会が進むように、内容や話し方を考えてきました。また、学年全体でリハーサルをして準備を重ねてきました。

集会では、代表の子供が「思いは見えないけれど思いやりは目に見えると思います」と話し、優しい思いを行動に移す大切さを呼びかけました。6年生全員の思いが込められていたようでした。

全校児童が縦割り班ごとに、楽しく活動しました。全員が一斉に活動することはできないので、半分に分かれて交代で行いました。ハンカチ落としや、貨物列車と一緒に楽しくしていました。ハンカチ落としでは、全員が活動できるように考えてハンカチを落としていたようでした。貨物列車では、たくさんの人数が入り乱れて移動したのですが、上手に相手を見つけてじゃんけんをして、長い列ができていました。楽しい活動をして大きな笑い声が体育館に響いていたのですが、進行の声を聞きとっていました。

相手を選んでハンカチを落としていた姿や、楽しく浮き立った気分の中でも進行の声を聞き取って行動していた姿に、相手やみんなのことを思いやっている様子を感じ、うれしく思いました。

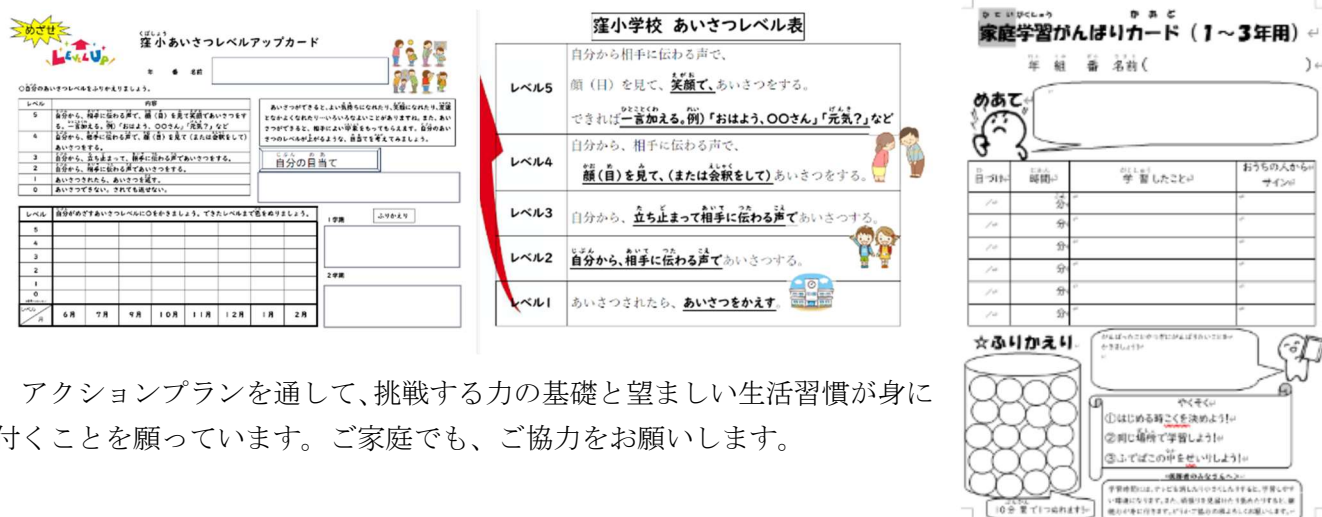


今年度のアクションプラン

子供たちの挑戦を支える力になるように、また、明るい学校生活を支える習慣が身に付くように、今年度のアクションプランを次のとおり設定しました。

	アクションプラン1	アクションプラン2
目標	各学年の目標の家庭学習時間(学年×10分)を達成する (達成度80%以上)	気持ちのよい挨拶をすることができる (達成度80%以上)
方策	○家庭学習頑張り週間を設け、家庭学習時間(学年×10分間)を目標にする。家庭学習頑張りカードに、「①目標②学習時間③自主学習内容(読書も可)④振り返り(1週間の最後に書く)⑤家族の印」欄を設け、記録する。 ○業間タイムで国語会と算数会に向けて各学級で練習したり家庭学習の仕方を紹介したりする時間を設ける。	○あいさつ頑張り週間を設け、挨拶についての目当てを設定する。挨拶レベルアップカードに目指すあいさつレベルを記入し、一週間後に振り返る。記録を蓄積する。 ○生活委員会が中心になり、望ましい挨拶の姿を全校に周知するとともに、達成できている学年や個人を紹介する。 ○学年や学級全体の挨拶レベルを向上させる取組を学級会等で話し合い、実行する。

子供たちは次のようなカードを活用して自分の目当てをもち、挨拶や学習に取り組んでいます。



アクションプランを通して、挑戦する力の基礎と望ましい生活習慣が身に付くことを願っています。ご家庭でも、ご協力をお願いします。

特別支援コーディネーターからのお知らせ ひらがな読みのすすめ

ひらがなを素早く読む力は、一生の学びを支える学力の基礎であり、とても大切なものです。ひらがなを素早く読めると、文章をすらすら読めるようになります。また、言葉の意味が分かりやすくなり、授業が楽しくなります。

授業の様子を見ていると、字をゆっくりと読んでいたり、読み間違えたりする子供がいます。ひょっとしたら、ひらがなを読むことに慣れていないのではないだろうかと心配しています。もし、お子さんがひらがな読みに困っているようでしたらお知らせしたい情報があります。

それは、小枝達也先生が開発された、ひらがなを読むことに慣れる支援プログラムについてです。先生は、国立成育医療研究センターシニアフェロー、鳥取大学名誉教授として、ひらがなを読むことに慣れる重要性を説かれ、支援プログラムを開発されました。このプログラムは、ひらがな読みの力を付ける効果や、読みに自信をもたせることが期待できます。

このプログラムはWeb上でも検索できますが、関心のある方は、本校特別支援コーディネーターが担任にご相談ください。